

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年5月24日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	一宮市	代表者名	中野 正康
担当者部署	総務部デジタル推進室	連絡先電話番号	0586-28-8670
担当者役職	主任	担当者氏名	渡邊 大河
住所	491-8501 愛知県一宮市本町2丁目5番6号		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	連絡先部署	連絡先電話番号	連絡先E-mail
担当者氏名			

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	村上 文洋
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	村上氏の講演は非常に興味深い内容であり、且つ、説明や資料がわかりやすい内容であったため、自治体DX及びオープンデータについて理解を深めることができた。また、村上氏は多種多様な事業に携った実績があり、非常に参考になる事例を豊富に紹介してもらえた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年5月18日	14時30分	17時15分	5	160
	派遣形態	支援・助言(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	73人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	職員がオープンデータの意義を理解し、二次利用が容易なデータを提供できるよう、職員への啓発が必要である。職員が自治体DXについての理解を深め、業務改革・意識改革に取り組む必要がある。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	出席者が、本セミナーを通じて自治体DX及びオープンデータに関する理解を深め、業務改革・意識改革に取り組む。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	本市における全庁的な自治体DX及びオープンデータの推進のため、本市職員を対象に「オープンデータ」×「自治体DX」セミナーを開催し、その講師を務めていただいた。講演では、自治体DXに関する内容の講演を中心に行われた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	自治体DXに関して深く理解することができた。具体的には、日本が抱える問題の1つである人口減少の急速さや深刻さを学び、少ない人口でも社会活動を継続していくためには仕事の仕方・意識を変えていくことが必要であることを学んだ。民間との連携やデータの活用事例を豊富に紹介いただくことで、どのようにAI・ICTを活用できるかが分かった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	・セミナー講演 ・講演資料	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートを行っているが、1週間以内に回答・集計することが困難のため、別途集計後送付する。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	各部署の担当職員がオープンデータの意義を理解し、各部署におけるオープンデータに関して新規のデータ提供や既に提供中データの改善について検討・実施する。また、自治体DXについての基礎知識を習得して、業務改革・意識改革に取り組む職員を養成する。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

